

うえだじょうなんみどりかい

上田城南みどり会（上田市）

・組織の活動面積 A= 45 ha	組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) □	資源向上(長寿命化) □
・組織の構成員数 約 292 人	取組開始年度	平成26年～	—	—

構成員	上田市六ヶ村堰土地改良区、西沖水利組合、築地農家組合
-----	----------------------------

組織の概要

六ヶ村堰は、小牧の千曲川新幹線ハープ橋下にある頭首工から取水し、650mの隧道を経て城下地区・神畑・築地ため池へ、そして、干ばつ時には、小島揚水機場で塩田平のため池まで通水している。また、農業用水と共に、ゲリラ豪雨・台風時には小牧山側住宅地から流れ込む雨水の排水路となり、非かんがい期には住宅地の雑排水路の異臭を防ぐ生活環境用水としても利用されています。

延長約10Kmにおよぶ水路を守るため、土砂上げ、管理道路・水路草刈、異常気象時の取排水門操作・巡視などを沿線の自治会と連携して活動を進めております。

沿線の自治会と連携しながら守る、農業水路・ため池



「千曲川の頭首工」

(左側) 沿線自治会長による
主要な水路施設の見学会

樹木伐採と草刈作業 (右側)



650m隧道に堆積した土砂の搬出



水路土手の竹やぶの伐採



春に実施する築地ため池の野焼き



「異常気象時の対応」

ゲリラ豪雨・雨台風時、千曲川からの取水を止める。

しかし、数ある山側水路の雨水で下流堰が危険水位に増水するため、分水門・排水門などの緊急操作に奔走する。